

2 児童アンケート・保護者アンケートによる評価

(1) 児童アンケートによる調査結果

令和7年度12月 学校教育活動等に関する児童アンケート調査						令和7年12月	
全校							
<評価> A：よくあてはまる（4点） B：どちらかといえばあてはまる（3点） C：あまりあてはまらない（2点） D：あてはまらない（1点）						92 名中	92 名回答
						回答率	100%
番号	内 容	A	B	C	D	評価点	令和6年度2学期比
1	まわりのひとのことをかんがえて、はなしたりこうどうしたりしてい	53%	45%	2%	0%	3.5	±0
2	はやね・はやおき・あさごはんができていますか。	43%	40%	12%	4%	3.2	-0.1
3	きもちのよいあいさつや「はいっ」のへんじができていますか。	50%	38%	10%	2%	3.4	-0.1
4	じゅぎょうは、わかりやすくてのしいですか。	64%	28%	8%	0%	3.6	-0.1
5	げんきよくあそんだり、うんどうしたりしていますか。	78%	16%	4%	1%	3.7	-0.1
6	せんせいたちは、あなたのはなしをよくきいてくれますか。	73%	25%	1%	1%	3.7	±0
7	ひなんくんれんをしんけんにしたり、あんぜんにきをつけたりして、じぶんのいのちをたいせつにして	86%	11%	1%	2%	3.8	±0
8	あなたのがっきゅうでは、みんながなかよくきょうりよくできていますか。	70%	24%	5%	1%	3.6	±0
9	こふじちいきのことがすきですか。	86%	12%	2%	0%	3.8	-0.1
10	がっこうがたのしいですか。	71%	23%	5%	1%	3.6	-0.2
11	がっきゅうではなしいのとき、じぶんのいけんをいえ	41%	37%	11%	2%	3.3	-0.1
12	がっこうであったことを、おうちのひとにはなしていますか。	61%	29%	8%	2%	3.5	-0.1

(2) 保護者アンケートによる調査結果

令和7年度 学校教育活動等に関する保護者アンケート調査																令和7年12月			
＜評価＞ A：よくあてはまる（4点） B：どちらかといえばあてはまる（3点） C：あまりあてはまらない（2点） D：あてはまらない（1点）										回答対象者数									
										92 名中 61 名回答									
										回答率		66%							
番号	内 容									A	B	C	D	評価点	対令和6年度2学期				
1	お子さんは、思いやりの心を持って周りの人と接している。									46%	54%	0%	0%	3.5	±0				
2	お子さんは「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身に付いている。									57%	36%	7%	0%	3.5	0.2				
3	お子さんは、「あいさつ」や「返事」ができています。									44%	48%	8%	0%	3.4	±0				
4	お子さんは、授業が分かりやすく楽しいと言っている。									46%	41%	13%	0%	3.3	0.1				
5	お子さんは、元気よく遊んだり運動したりしている。									67%	28%	5%	0%	3.6	0.1				
6	先生は、児童一人一人をよく理解しようとしている。									61%	38%	2%	0%	3.6	0.1				
7	学校は、避難訓練の充実など児童の安全確保のための適切な配慮を行っている。									67%	30%	3%	0%	3.6	±0				
8	学校は、学校・学級便りや各種便り、ホームページ、見守りメール、家庭への連絡等で積極的に情報を発信している。									72%	26%	2%	0%	3.7	0.1				
9	お子さんは、学習や地域の活動や行事を通して、地域に親しみを感じている。									57%	38%	5%	0%	3.5	±0				
10	お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている。									61%	34%	5%	0%	3.6	0.1				
11	学校は、発達段階に応じて、人権尊重の意識を育てている。									62%	38%	0%	0%	3.6	0.1				
12	先生は、保護者の相談に適切に応じている。									56%	44%	0%	0%	3.6	0.2				
13	学校は、コミュニティ・スクールとして家庭・PTA・地域と連携した教育を行っている。									62%	38%	0%	0%	3.6	0.1				
自由記述欄に寄せられた保護者からの意見																			
・小規模校だからこそできる取組みが、もっとたくさん増えるといいなと思います。 ・人権学習を昼間ではなく以前のように夜やってほしい。どうしても昼行けない人もいます。行けなかったら別日に強制的にされても、休みが取りにくかったらその別日も行けないので以前のように夜に戻して欲しい。 ・来月の予定表をもっと早くいただきたい。12月は1日が下校時間が早まっていて予定表がまだ出ていなかったのだから大変だった。お忙しいとは思いますが、遅くとも次の月の1週間前にはいただきたいです。 ・いつもお世話になります。子供の良い所、悪い所をよく理解してくれており、状況に応じて良い所を伸ばしてくれている様に思います。ありがとうございます。 ・先生は、親近感があり親身になって寄り添ってくれるといつも子供が伝えてくれます。また、子供の事をよく理解しようとしてくれてるのが凄く分かります。ありがとうございます。 ・勉強が分からない事も、先生のおかげでわかる様になったといつも言っております。話もしやすく、子供達の事も凄く考えられておられると思います。子供も信頼している様です。本当にありがとうございます。 ・PTA活動が負担です。 ・テトルで丁寧に配信してくれるので、助かります。 ・校内音楽発表会のときに、児童が座っている間と保護者席で分かれていますその間の境い目を越えてビデオ撮影をしている保護者の方がいました。児童席と保護者席との間にカラーコーンバーを置いた方がよいかと思います。 ・子ども同士で喧嘩になったりしてもあまり怒らないと聞きました。それが子どもにとって辛かったみたいで。怒るところは怒ってもらいたいです。 ・すばらしい担任に巡り会えて、子どもにとってもとても良かったです。																			

(3) 児童アンケート結果の考察

- 「小富士地域のことが好きですか。」の項目では、Aが86%、Bが2%、C12%、Dが0%という結果であり、昨年度より0.1%低くなったが、ここ数年、評価が一番高い項目となっている。児童が地域の方々に見守られ、育てられていることが伺える。子どもたちが地域のことが大好きと思える公民館祭や、お祭り集会など、学校運営協議会の方々を中心とした行事も地域には多く、児童の参加率も高い。
- 例年、評価点が高い項目に、「避難訓練を真剣にしたり、安全に気を付けたりして、自分の命を大切にしていますか。」の項目がある。突然、緊急地震速報が流れても、比較的本校の児童は安全な場所に避難することができている。「自分から逃げる」という意識が根付いているので、率先的避難ができる児童を今後も育成したい。
- 昨年、項目を一新して2年目になるアンケートであるが、全体的に評価点は低くなっている。特に、本校の課題である「早寝・早起き・朝ごはんができていますか。」「学級での話し合いのとき、自分の意見を言えていますか。」の項目は、それぞれ0.1ポイント低くなっている。教職員が、児童に個別に声を掛けたり支援したりする、小規模校ならではの地道な取組をし続けたい。特に、「早寝・早起き・朝ごはんができていますか。」の項目は、家庭との連携が不可欠な項目なので、各種便りや懇談で呼び掛けるなど、保護者と協力できるようにしていきたい。
- 「学校が楽しいですか。」が昨年度より0.2ポイント低くなった。不登校傾向にあると思われる児童は少ないが、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答した児童もいる事実を踏まえ、児童一人一人の困り感を複数の目で把握し、情報共有していきたい。

(4) 保護者アンケート結果の考察

- 昨年度2学期と比較して、全体的に評価点は高くなっている傾向である。学校便り・ホームページなどによる情報発信の項目は、引き続き評価が高かったことから、今後も、地域や関係諸機関と連携しながら教育活動を進め、適切かつ迅速に情報を発信していくことで、信頼関係をより深めたい。
- 評価点の伸びが高かった項目は、「お子さんは『早寝・早起き・朝ごはん』の習慣が身に付いている。」「先生は、保護者の相談に適切に応じている。」の2項目であった。『早寝・早起き・朝ごはん』の習慣が身に付いている。」については、児童の意識と差があることは課題ではあるが、家庭では、児童に声掛けをしていただいている表れとも取れる。また、家庭が、本校の教育に協力的であることは、本校の強みである。その期待に応えることができるよう、今後も、積極的に地域・家庭に開いた教育を継続していく。
- どの項目も、「あてはまらない」の回答が0%であった。
- 「お子さんは、授業が分かりやすく、楽しいと言っている。」の項目は、昨年度より0.1ポイント上がってはいるが、評価点は、他の項目と比較して例年一番低い傾向にある。反対に、「あてはまらない」と回答した割合が多い傾向であったが、今回は0%となった。授業時間は、学校生活の大半を占めていることから、児童が、授業内容を理解できずに困り感を抱き、保護者にもその不安感が伝わっていると考えられる。児童全員が楽しく主体的に学ぶことができるよう、授業改善に引き続き取り組んでいく。

3 学校運営委員会による評価

(1) 構成メンバー

	氏名	役職名		氏名	役職名
1	西山 雅啓	小富士公民館運営委員長	10	高橋 建太郎	元PTA会長
2	越智 光三	小富士公民館長	11	三好 祥生	元PTA会長
3	鈴木 康令	小富士小学校PTA会長	12	合田 泰之	土居中学校長
4	渡辺 俊尚	中村自治会長	13	河野 弘恵	小林保育園長
5	越智 茂	小林自治会長	14	三木 啓志	小富士消防団副分団長
6	石田 英雄	藤原自治会長	15	安藤 幸夫	小富士公民館運営委員
7	森田 健	主任児童委員	16	加地 百代	小富士公民館主事
8	鈴木 裕子	人権擁護委員（教員OB）	17	小野 浩喜	校 長
9	近藤 智広	元PTA会長			

(2) 実施回数 年間 5回

- (3) 実施状況 第1回 令和7年5月8日 委員16名、事務局1名、CS担当教員1名、教職員9名
 第2回 令和7年7月9日 委員15名、事務局1名、CS担当教員1名
 第3回 令和7年9月5日 委員15名、事務局1名、CS担当教員1名、教職員2名
 第4回 令和7年11月22日 委員16名、事務局1名、CS担当教員1名、
 関係団体5名、教職員3名、保護者1名
 第5回 令和8年2月3日 委員13名、事務局1名、CS担当教員1名、教職員2名

(4) 学校運営協議会委員（校長を除く）評価結果と考察

<市内共通項目>（回答人数：16名中14名）（回答率：88%）		評 価				総合 評価
		4	3	2	1	
1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。	10	4	0	0	3.7
2	自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。	5	9	0	0	3.4
3	教育活動や評価結果に関して、分かりやすく情報提供できているか。	10	4	0	0	3.7
4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。	9	4	1	0	3.6
5	学校運営協議会は、適切に運営されているか。	8	6	0	0	3.6
<学校独自の評価項目> ※ 危機管理の徹底・施設設備の整備						
6	教職員は生き生きと意欲的で、いじめのない明るい学校づくりに取り組んでいるか。	12	2	0	0	3.9
7	学校は、安全で安心な学校づくりを進めているか。	11	3	0	0	3.8
8	学校は、保護者や地域と連携して、ふるさとを愛し誇りに思う児童の育成に努めているか。	13	1	0	0	3.9

【具体的改善策等の提言】

- 働き方改革は、どの学校もまだまだのようです。どのように保護者の意識を変えることができるのが難しい。
- お祭り集会のとき、児童の待機方法について、テントを張るなど検討したい。
- 校区には池もあるため、安全面において、着衣泳を検討してほしい。
- ふるさとふれあいウォーキングのタイムの設定について、ウォーキング主体かふるさと理解主体にするか、検討の余地がある。
- 小富士っ子サポーターの高齢化による協力者の減少が悩みである。子どもや孫がいなくても学校に行ける雰囲気をつくるなど、理解者を増やしたい。
- 学力面で、基礎学力の定着・向上の期待の声もある。
- 登校時の様子は良いが、下校時の様子が気になる。

